

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第15週の発生動向

□ トピックス

・感染症発生動向調査(定点把握)の変更について

厚生科学審議会感染症部会での審議を経て感染症法施行規則の改正により、令和7年4月7日から、感染症発生動向調査(定点把握)の取扱いが一部変更となります。

1. 定点医療機関数の変更

定点医療機関については第14週までは、内科定点22カ所、小児科定点36カ所でしたが、第15週以降は、内科定点13カ所、小児科定点15カ所に変更になります。

2. 急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection:ARI)の定点把握開始

急性呼吸器感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点把握の対象に追加されました。急性呼吸器感染症の定点把握は、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群の調査です。

※咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例。

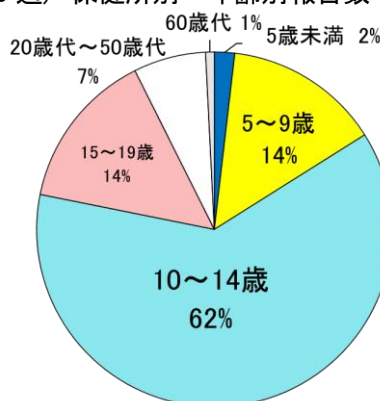
急性呼吸器感染症の報告数については、感染症週報第16号(4月24日発行分)から記載予定です。

・百日咳(2018年から全数把握対象疾患)

15週までの診断週による累計報告数が380例となりました。報告が最も多かった2018年(318例)の報告数を超え、第15週時点で過去最多となっています。年齢群別では、10~14歳が全体の約6割を占めています。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く84例となっています。

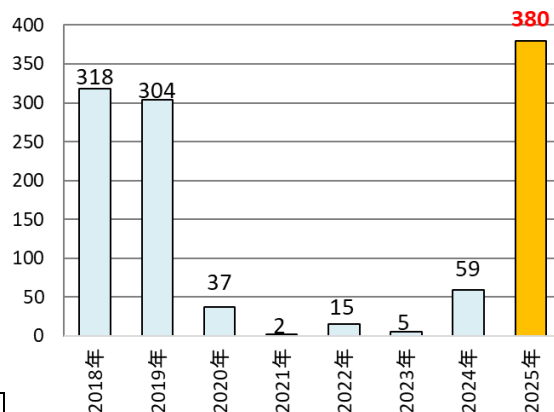
2025年(第1週~第15週) 保健所別・年齢別報告数

保健所名	報告数
宮崎市	84
都城	78
延岡	54
日南	35
小林	0
高鍋	63
高千穂	0
日向	28
中央	38



※70歳以上の報告はなかった。

年齢	5歳未満	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代~50歳代	60歳代
報告数	7	54	236	55	25	3

診断週による年別累計報告数の推移
(2018年~2025年*)

※2025年は第1週~第15週まで

□ 全数報告の感染症（15 週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例。
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 5 例、百日咳 68 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	小林	20歳代	女	結核性胸膜炎	咳、発熱、右上腹部痛
4類	つつが虫病	宮崎市	20歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
		延岡	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群							症状
				0～4歳	5～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	
5類	百日咳	宮崎市	33例	1	4	25	1	1	1		持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、ウーブ、嘔吐、白血球数増多、肺炎
		都城	11例		3	8					
		延岡	5例	1		3				1	
		日南	3例		1	2					
		高鍋	9例		2	7					
		日向	2例			2					
		中央	5例		1	4					

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は 468 人（定点当たり 28.5）であった。

【新型コロナウイルス感染症】

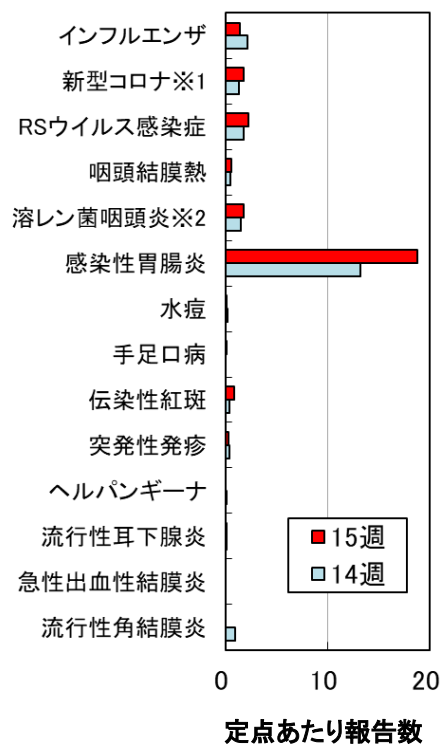
報告数は 50 人（1.8）であった。年齢群別では 60 歳以上が全体の約 3 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 282 人（18.8）であった。例年同時期の定点当たり平均値*（10.0）の約 1.9 倍であった。年齢群別は 3 歳から 4 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間（2015—2019）の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

《前週との比較》

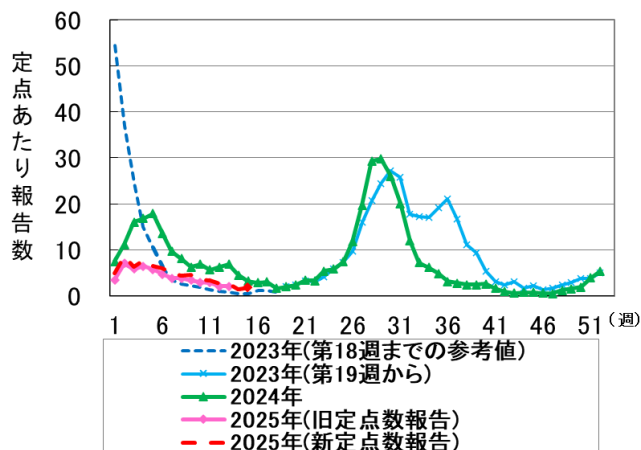


※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

※ 15 週から定点医療機関数に変更あり

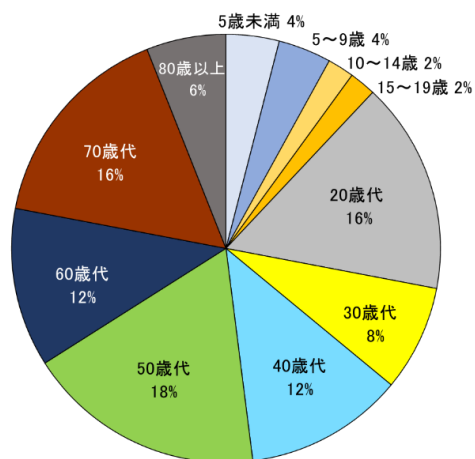
新型コロナウイルス感染症 発生状況



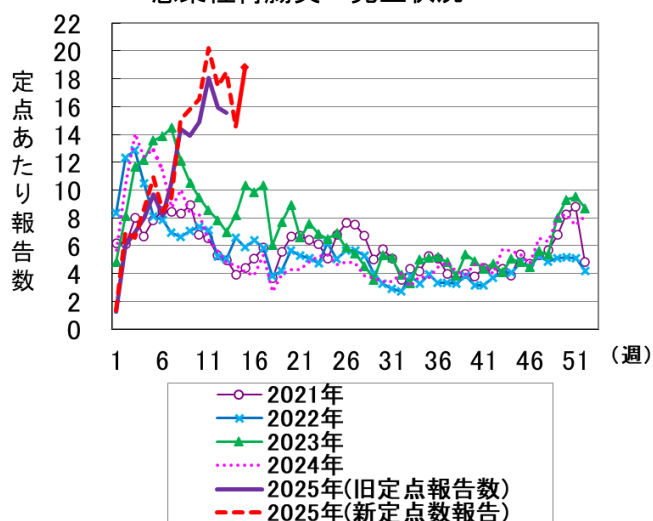
※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週
～第18週分のデータは、定点医療機関から
の報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第15週)



感染性胃腸炎 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は1例(定点当たり0.1)で、宮崎市(1例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が1例で、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	感染性胃腸炎(24.4)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(40.0)
高鍋	感染性胃腸炎(30.0)
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(23.0)
中央	伝染性紅斑(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル
基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和7年4月14日までに検出）

★細菌 報告なし

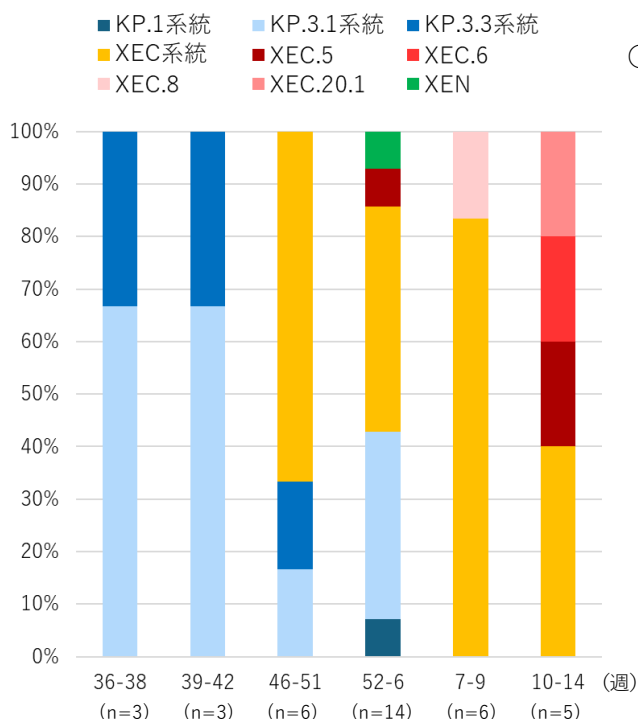
★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Rotavirus A G3	10歳代	女	2025.03.28	ロタウイルス疑い 38.7℃、下痢、嘔気、嘔吐、腹痛	便	2025.04.11

○13歳の女兒から Rotavirus A G3 が検出された。A群ロタウイルス（以下、RVA）は乳幼児における感染性胃腸炎の主要な原因ウイルスであり、衛生環境によらず世界中に広く存在している。RVA の遺伝子型は多彩であるが、今回検出された G3 型は、日本国内では、2016 年頃から流行している equine-like G3 型であった。RVA はエンベロープを持たないため、アルコール消毒の効果が低く、次亜塩素酸ナトリウム等による消毒が有効である。

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○ 第 10-14 週は全てが XEC 系統であった。

※XEC は KS. 1.1 と KP. 3.3 の組換え株で、現在、日本、欧米で流行している。
ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。
衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2025 年第 14 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	157 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7 例	パラチフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	エムボックス	1 例	つつが虫病	1 例	デング熱	1 例
	日本紅斑熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	27 例
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	65 例	水痘(入院例)	7 例	梅毒	195 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例	百日咳	722 例
	風しん	1 例	麻しん	6 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 80%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及び感染性胃腸炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 10,132 人(2.1)で前週比 73%と減少した。新潟県(4.4)、山形県(4.1)、長野県(3.9)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割、15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 19,251 人(6.4)で前週比 81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.5)の約 1.2 倍であった。大分県(13.5)、宮崎県(13.2)、香川県(12.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2025 年 3 月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は33人(2.5)で、前月比87%と減少した。また、昨年3月(1.9)の約1.4倍であった。

《疾患別》

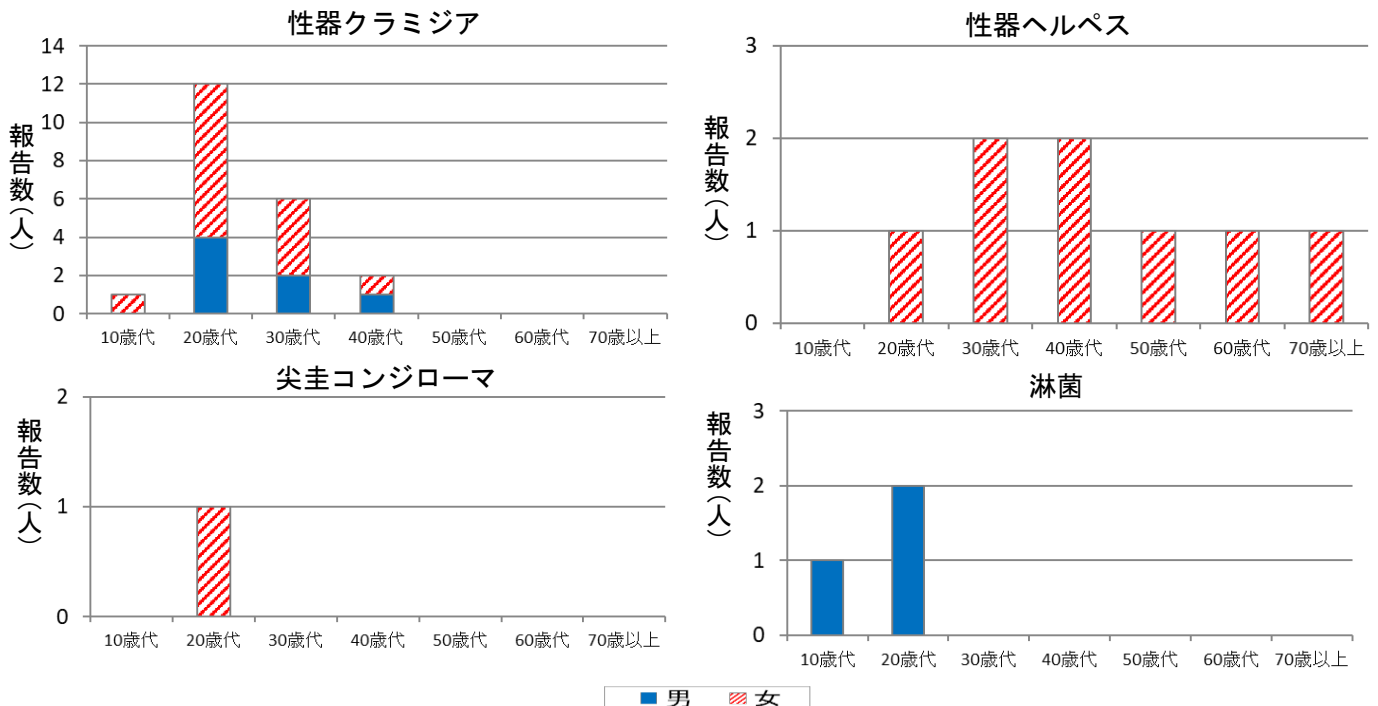
○性器クラミジア感染症：報告数21人(1.6)で、前月の約0.9倍、昨年3月の約1.9倍であった。

20歳代が全体の約6割を占めた。(男性7人・女性14人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の0.8倍、昨年3月の1.6倍であった。
(女性8人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、昨年3月の0.5倍であった。(女性1人、前月報告なし)

○淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月の0.6倍、昨年3月の0.5倍であった。
(男性3人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,132人(4.3)で、前月比112%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,182人(2.3)で前月比109%、性器ヘルペスウイルス感染症871人(0.90)で前月比118%、尖圭コンジローマ505人(0.52)で前月比116%、淋菌感染症574人(0.59)で前月比109%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は12人(1.7)で、前月比60%と減少した。また、昨年3月(1.7)の約0.5倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数12人(1.7)で、前月の約0.6倍、昨年3月の約0.5倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,418人(3.0)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,339人(2.8)で前月比107%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症72人(0.15)で前月比94%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比100%であった。

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	127	41	2	1	27				7	3	1
	定点当り	2.19	1.46	0.22	0.25	9.00	0.00	0.00	0.00	3.50	1.50	0.50
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	77	50	11	9	11	1	3	2	5	3	5
	定点当り	1.33	1.79	1.22	2.25	3.67	0.50	1.50	1.00	2.50	1.50	2.50
RSウイルス 感染症	報告数	65	34	11	1	5		14			1	2
	定点当り	1.81	2.27	2.20	0.50	2.50	0.00	14.00	0.00	0.00	1.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	18	9	6	1	1			1			
	定点当り	0.50	0.60	1.20	0.50	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	53	27	12	5	2	2		3			3
	定点当り	1.47	1.80	2.40	2.50	1.00	2.00	0.00	3.00	0.00	0.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	475	282	122	10	28	14	40	30	2	23	13
	定点当り	13.19	18.80	24.40	5.00	14.00	14.00	40.00	30.00	2.00	23.00	13.00
水 痘	報告数	8	2	2								
	定点当り	0.22	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	15	13	8		2						3
	定点当り	0.42	0.87	1.60	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
突発性発しん	報告数	15	5	2		1	1					1
	定点当り	0.42	0.33	0.40	0.00	0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2			1						1
	定点当り	0.03	0.13	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6										
	定点当り	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.43	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

第14週: インフル/新型コロナ定点: 58、小児科定点: 36(インフル/新型コロナ定点を兼ねる)、眼科定点: 6、基幹定点: 7

第15週: ARI定点: 28、小児科定点: 15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点: 6、基幹定点: 7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週 ～15週 保健所受理分)

2類感染症	結核	35例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	つつが虫病	7例(1)
	レジオネラ症	2例		日本紅斑熱 1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	38例(5)
	破傷風	1例	百日咳	365例(68)
				急性脳炎 2例
				侵襲性肺炎球菌感染症 11例(1)
				播種性クリプトコックス症 1例

()内は今週届出分、再掲